

九州大学附属図書館付設教材開発センターだより

ICER Newsletter

JMOOC「昆虫学入門 - 多様性を探る 受講生募集中

Exploring Insect Biodiversity - 」

教材開発センターが取り組んだMOOC第5弾「昆虫学入門 - 多様性を探る - Exploring Insect Biodiversity」を7月23日よりJMOOCから開講します。今回の講師は、九州大学総合研究博物館の丸山宗利准教授です。先生のご専門はアリと共生する昆虫(好蟻性昆虫)で、それらの多様性についてご説明されています。本講座では、どうして昆虫が多様なのか、どのように多様なのか、昆虫の多様性の実態とその理由について学ぶことができます。このような昆虫研究では、世界各地で採集調査を行います。ここ数年で印象深かった調査の様相も紹介されています。昆虫は多様ですが、昆虫の研究内容も研究者も多様です。この講座では、一研究者の視点から概観する昆虫の多様性を学ぶことができます。

MOOCは、パソコンだけでなくスマホやタブレットを使ったモバイル・ラーニングも可能です。通学・通勤時間を有効に活用し、MOOCの学びに是非、チャレンジしてみてください。

なお本講座の開講期間は3週間で、1週目「昆虫の多様性」、2週目「好蟻性昆虫」、3週目「楽しい採取調査」の講義内容です。6月1日より受講登録を開始し8月20日まで登録可能です。皆様の受講をお待ちしております。

受講登録はこちらから <https://open.netlearning.co.jp/lecture/index.aspx?cid=00027J11>



【岡田 義広 教授(教材開発センター長)】

360度VR動画撮影システムをご紹介します！

魚眼レンズが2個あるいは複数個付いたカメラを360度VRカメラといいます。魚眼レンズの半球画像を複数貼り合わせて正距円筒図法画像を生成することで、任意の方向から見た画像を生成表示できます。あたかも自分がカメラのある場所に居るような錯覚を与えることができます。360度VRカメラを使うことで、講義や講習会・演習の様相を非常に高い臨場感のある動画(360度VR動画)として撮影できます。

教材開発センターが所有している360度VRカメラは、KANDAO Obsirian Sと Insta 360 Proです。貸し出しを行っていますので、是非お試しください。



KANDAO Obsirian S

Insta 360 Pro

利用申込はこちらから http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/lectcast_use_apply

【岡田 義広 教授(教材開発センター長)】

Apple Developer Enterprise Programをご存知ですか？

これは、iPad や iPhone などの Apple のモバイル端末用アプリ (iOS App) を開発し組織内で利用可能とするプログラムです。九州大学では、教材開発センターが中心となり本プログラムに参加しています。専用の開発ツールである Xcode を利用して iOS App の開発が可能ですが、実行検証は一般にシミュレーター上でのみ可能です。実機での検証のためには、実機に開発した iOS App をインストール可能とする権限が必要になります。また、開発した iOS App を学内の多数の利用者に利用してもらうためには、配布の権限も必要になります。Apple Developer Enterprise Program は、これらを可能にするものです。教材開発や研究開発の目的で iOS App の開発と学内での配布を希望される場合には、本センターにお尋ねください。



詳細は以下のページをご覧ください。

▶ <https://developer.apple.com/programs/enterprise/jp/>

【岡田 義広 教授(教材開発センター長)】

着任のご挨拶 (大井 京 准教授)

平成30年4月から教材開発センターのイノベティブ・オープン・エデュケーション部門の准教授として着任いたしました大井 京(みさと)です。これまでは、実験や脳活動計測を用いて、ヒトのコミュニケーションを検討する認知神経心理学の研究を出発点として、学習者が電子教材を利用することで記録される学習ログを分析することで、効果的な学習方法を明らかにするラーニング・アナリティクス研究に主に取り組んできました。教材開発センターでは、MOOCを中心とした電子教材とICTを活用した教育・学習の開発・改善について、認知神経心理学とラーニング・アナリティクスの手法を生かして、実践と研究の双方で貢献していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



着任のご挨拶 (芳賀 瑛 助教)

平成30年度4月より赴任しました助教の芳賀 瑛(あきら)です。教育工学を専攻し、学習分析を主な研究領域として教育システムの開発と教育手法の実践を行ってきました。近年では特にラーニング・アナリティクスを中心に、IoT 機器から得られる生体情報から学習者の技能レベルの判定を行うVR機械学習システムの開発を行っています。



また、e-learningにおけるコンテンツ開発を長く担当し、ICT教育に関わる教学IR、FD活動に従事してきました。教材開発センターでは10年、30年後の九大の教育の在り方を想定しながら、学習の「過程」を定量化できる新しい形の教材を開発し、エビデンスベースドに未来の教育環境の構築に貢献したいと考えています。

電子教材著作権講習会 ～ 部局・部門FDとしてご依頼ください ～

部局・部門から「電子教材著作権講習会」のご依頼を受けましたら、日程と会場を調整させていただき、部門・部局のニーズに合った内容で実施させていただきます。

また、平成30年5月18日に著作権法が改正されました。改正内容等も含めまして「電子教材著作権講習会」を開催させていただきます。

講師は、大学学習資源コンソーシアム(CLR: Consortium for Learning Resources)の著作権法改正対応WGの委員を務める教材開発センター長の岡田義広教授です。ぜひお問合せください。



FD講習会依頼フォームや講習会資料はこちら ▶ http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/copyright_info

【岡田 義広 教授(教材開発センター長)】